

## 富山観光創造会議

NPO法人富山観光創造会議(富山市)の「自由研究をやっちゃおう! みんなのまち」は2日、富山市内の商店などで始まり、県内の小学4〜6年生がまずしや水あめなどの歴史や製造過程を学び、紙面や冊子にまとめた。

# 自由研究 街が舞台

## 歴史、文化に関心深め

### まずし、あめ作り学ぶ

自由研究の題材として企業や店舗を紹介し、子どもたちや保護者が富山の歴史や文化に関心を深める機会をつくりたいと、2年前から毎年開催している。同市古鍛冶町の島川あめ店は、親子連れ14人が参加。クイズを通じて麦芽とでんぷんを混ぜてあめを作ることを学んだ。島川とも子店主は、混ぜた材料を一晚寝かせることで甘みを出すことや、薬の苦みを和らげるためにあめを使うようになったことなどを紹介した。



製造に使う原料サンプルや水あめの試食も配られ、資料用写真を撮る親子の姿が目立った。見学後は、同市堤町通りの富山観光創造会議事務局で研究をまとめた。

企画は12日までで、富山、射水、高岡市の15カ所で開かれる。草島小6年の高野真里さんは「あめがどつやって作られるか分かった」と笑顔を見せた。

島川店主の説明を聞く児童たち  
富山市古鍛冶町の店舗